

公告 昭 33.8.4 出願 昭 30.2.3 実願 昭 30-4147

出願人 考案者 太 田 俊 一 岡崎市康生町17
代理人 弁理士 宮 武 陽 男

(全 2 頁)

美容液噴射装置を備えた蒸風呂

図 面 の 略 解

図面は本案美容液噴射装置を備へた蒸風呂に係り第1図は縦断側面図、第2図はカバーを外した内部平面図、第3図はカバー附の外部平面図、第4図は背面図である。

実 用 新 案 の 説 明

本案は前方を低く後方を高くした流線傾斜型の密閉匣体1を設け、内部に傾斜型腰掛2を固設し、該腰掛の下部と足載板3の下部に適宜の熱源に依る加熱装置4、5と蒸発タンク6、7を装置し且つ両側板の内側に腰掛けた身体の方へ噴射する噴霧装置8、9を設け、匣体1の上面はレザーその他適宜の資材より成る開閉自在の覆蓋10にて密閉して成る美容液噴射装置を備へた蒸風呂の構造を要旨とするものである。

尚図中符号11はスポンジ12はモーターにしてパイプ13にて噴霧器に連結する、14は電気操作器具を備へた機械板15は覆板のフアスナーで三方へ自由に開閉出来る様に設けてある、16は両腕を外部へ突出すに便なる開口部に於て之れには蓋が附いていて蒸気の逸出を可及的に防いである。

本案は飯上の如き構造を備へていて従来の単なる腰掛式の蒸風呂と異なり身体を傾斜状に横臥させ一番安楽な姿勢で周側全面より蒸気で程良く温蒸するので身体の疲労を急速に快復させると同時に適当に温蒸した後(約15分乃至20分後)に両側に備へた噴霧装置8、9にて牛乳液薬液化粧液香水等を適宜に自己の欲する部分に霧状として噴射せるもので此の時は既に皮膚の毛孔が充分に開いているため噴射液の皮膚への浸透作用が著しく美

容効果のみならず皮膚病等の治療的效果を確実に奏すると言ふ特徴がある。

又覆蓋10は軟質のビニールレザー等防水性の資材を以て三方がフアスナーにより開閉自由に設けてあり身体の入出に便宜で頭部は丸孔17より突出して下部の蒸発装置に依り蒸気を連続的に発生し蒸風呂に依る美容と治療的效果を挙げ以て健康増進の目的を達成しようとするものである。尚本案の加熱装置に用ひる熱源は瓦斯、木炭、煉炭、電熱等何れを利用するも随意であるが主として電熱を利用するが便利であり殊にタイムスイッチを使用すれば一定時間を経過後は自動的に蒸気の発生が停まり同時に噴霧装置がモーターよりの圧搾空気に依り自動的に活動して液を霧状として身体に吹付ける様に出来て操作も簡単で且つ合理的に美容効果と治療効果を挙げることの出来る有益な考案である。

而も装置全体が移動自由に適する様1個にまとめて在るため比較的狭隘なる場所へ装置して使用が出来ると言ふ実用性を有するものである。

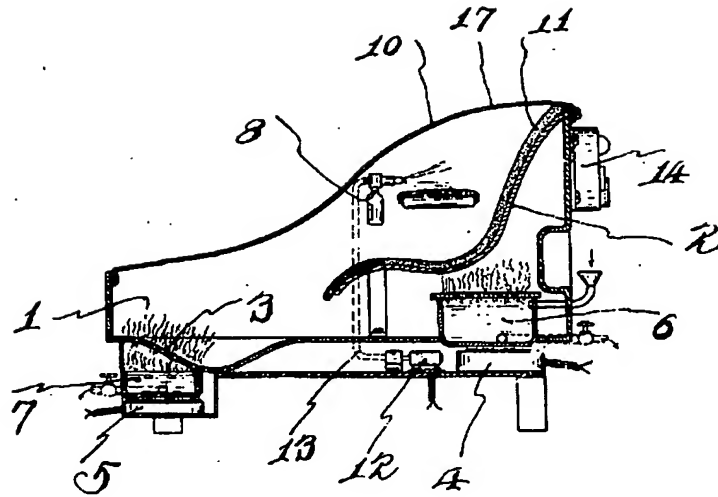
登 録 請 求 の 範 囲

図面に示す如く前方を低く後方を高くした流線傾斜型の密閉匣体1を設け内部に傾斜型腰掛2を固設し該腰掛の下部と足載板3の下部に適宜の熱源に依る加熱装置4、5と蒸発タンク6、7を装置し且つ両側板の内側に噴霧装置8、9を設け匣体1の上面はレザーその他適宜の資材より成る開閉自在の覆蓋10にて密閉して成る美容液噴射装置を備へた蒸風呂の構造。

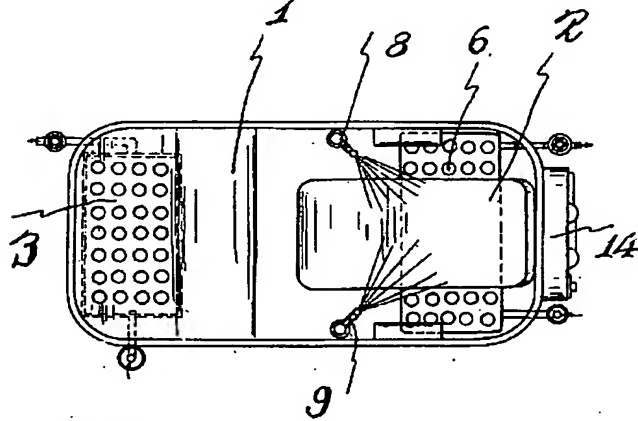
(2)

實用新案出願公告
昭33-11695

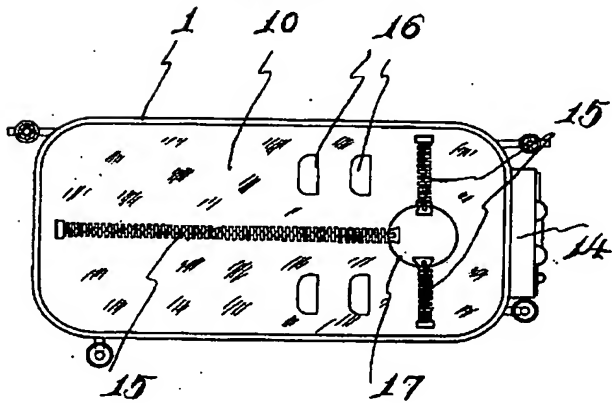
第1圖



第2圖



第3圖



第4圖

